

令和 7 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

安全安心な教育環境を保護者や地域の方とともにづくり、生徒に確かな学力などの社会生活で役立つ能力を育成する学校をめざす。

- 1 自己実現のために、全教育活動を通して「確かな学力」などの社会的実力を育む（目標のあるキャリア教育）
- 2 人権尊重の精神に基づく安全安心な学校生活のなかで多様性を育む（自他を大切にする意識と力の育成）
- 3 保護者や地域との充実した連携と協力を図りながら教育活動を行う（地域社会と協力する「開かれた学校づくり」）

2 中期的目標

1 確かな学力などの社会的実力の育成

- （1）わかりやすく魅力のある授業づくりをめざす。

ア 主体的・対話的で深い学びを実現するために、将来構想委員会授業改善係を中心として観点別学習状況評価をふまえた授業改善に取り組み、指導と評価の一体化を図る。

イ 授業観察・授業アンケートなどにより具体的な改善点を確認研究するとともに、1人1台端末等 ICT の有効活用により、授業力の向上を図る。

※授業アンケートの教員平均評定の向上 令和9年度には3.5以上をめざす（R4：3.4、R5：3.4、R6：3.4）

※令和9年度には生徒対象学校教育自己診断アンケート「教え方を工夫した授業」の肯定的評価68%以上をめざす。

（R4：64.9%、R5：61.8%、R6：66.3%）
- （2）生徒の多様な進路実現に向けて、組織的な取組みを行う。

ア 生徒が目標とする進路を実現できるように、関連情報環境を整備し、基礎学力重視の補習、発展的な進学講習などを充実させる。

イ 「体育・芸術創造コース」などキャリアを形成する本校の特色ある教育活動を発展充実させて、社会的な実力の育成を行う。

※令和9年度には生徒対象学校教育自己診断アンケート「進路や生き方について学ぶ機会」の肯定的評価85%以上をめざす。

（R4：83.0%、R5：82.9%、R6：81.9%）

2 安全安心な学校生活を通しての生きていく力の育成

- （1）生活指導の充実を図り、生活習慣の確立と規範意識向上、病気予防と環境美化に向けた取組みを推進し、個々の生徒への支援体制を整備充実させる。

ア 生活指導を通して、必要なモラルやマナーを身につけることの大切さを意識させることにより、社会生活で必要な力を育成する。

イ SCを活用した養護教諭・教育相談委員会の取組により、相談機能を活発化するとともに、支援委員会において支援の必要な生徒に対する具体的な対応について検討するなど、個々の生徒への支援体制の充実を図る。

※令和9年度には生徒対象学校教育自己診断アンケート「命の大切さや社会のルールについての学び」の肯定的評価78%以上を維持する。

（R4：76.1%、R5：75.8%、R6：79.2%）
- （2）人権尊重の意識を育て、特別活動等への主体的参加を促進することで自己肯定感を養う。

ア 様々な人権問題に関する正しい理解を深めることで人権感覚を養い、自他を尊重する教育を総合的に推進する。

イ 特別活動や部活動などを通して、楽しく充実した学校生活を送ることで自己肯定感を育てる。

※令和9年度には生徒対象学校教育自己診断アンケート「学校行事への積極的参加」の肯定的評価80%以上を維持する。

（R4：79.0%、R5：79.0%、R6：80.6%）

3 教職員の働き方改革の推進と学校組織の円滑な運営

- （1）教職員の業務内容に関する合理化を行い、可能な範囲での情報共有面での電子化を図ることで、働き方に関する改革を進めていく。

※時間外勤務に関わる産業医との面談が必要な教員数を令和9年度には9名未満になることをめざす。（R4：13名、R5：11名、R6：12名）
- （2）教職員の学校運営への参画意識の醸成

4 保護者・地域と協力した学校づくり

- （1）PTA活動を充実させ、地域との交流を部活動、学校行事、貢献活動などを通して充実させる。

ア PTA行事参加、「西高カップ」、地域イベントへの貢献、泉北高等支援学校との授業交流等を発展継続させる。
- （2）取組みをPTA新聞、校長ブログ、SNS、学校説明会、学校HPなどを通して広報することにより、保護者や地域の本校教育活動への理解を深める。

※令和9年度には保護者対象学校教育自己診断アンケート「教育方針のわかりやすい伝達」の肯定的評価75%以上をめざす

（R4：68.4%、R5：72.3%、R6：68.8%）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和 年 月実施分〕	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標〔R6年度値〕	自己評価
-------	----------	-------------	-------------	------

府立堺西高等学校

1	確 かな 学 力 な ど の 社 会 的 実 力 の 育 成	(1) 教え方を工夫した授業づくりの推進 ア 本校にふさわしい授業の検討	(1) ア 将来構想委員会の授業改善に向けた取り組みを中心に本校生徒の実態をふまえたうえで、引き続き学習内容がわかりやすく、生徒の自己肯定感の向上に結びつくような授業のあり方を追究する。	ア ・年間2回の授業アンケートで平均評定 3.43 以上 [3.41]	
		イ 具体的な授業改善への取組	イ ・リーディング GIGA ハイスクールの指定を受けて3年めを迎え、効果的な場面での1人1台端末を中心とした ICT 機器の活用、「アクティブ・ラーニング」の視点に基づく学習活動などのさらなる充実を図る。そのことを通して、工夫ある教科指導に基づく授業づくりに取り組む。 ・教員相互の授業見学週間を年2回設定するとともに校内一斉研究授業を行い、授業改善への取り組みを推進する。	イ ・生徒対象学校教育自己診断「工夫のある授業」の肯定的評価 67%以上 [66.3%] ・生徒対象学校教育自己診断「1人1台端末等 ICT 機器活用」の肯定的評価 65%以上 [62.4%] ・教職員対象学校教育自己診断「授業方法等についての教職員間の研修・研究機会の積極的確保」の肯定的評価 80%以上 [81.0%]	
		(2) 進路実現に向けた組織的な取組の充実 ア 進路と生き方について学ぶ機会	(2) ア 外部会場、外部講師等による進路説明会の実施や就職のための面接指導など、自己の進路と生き方について考えさせながら、個々の生徒の希望に応じたきめ細かな進路指導を行う。また、難関大学に挑む生徒についても具体的な対応を検討する。	(2) ア 生徒対象学校教育自己診断「進路や生き方について学ぶ機会がある」の肯定的評価 83%以上 [81.9%]	
		イ 特色ある教育による実力を持った社会的人材の育成	イ 「体育・芸術表現創造コース」選択生徒にキャリア教育の観点をふまえたパフォーマンス成果発表の機会(例「アートスタジアム」)を設け、コース授業における取り組みを促進する。	イ 「体育・芸術創造コース」生徒によるパフォーマンス発表機会を年間で3回以上設ける。[4回]	
2	安 全 安 心 な 学 校 生 活 を 通 し て の 生 き て い く 力 の 育 成	(1) 生活習慣の確立と規範意識の向上、支援体制の整備充実 ア 規範意識などの社会生活に必要な力の育成	(1) ア ・社会生活で必要となるマナーやルールを守るという規範意識を育むために、生徒の意見も生徒会を通して聴くなど、生徒の納得感にも配慮しながら、身だしなみ指導や遅刻指導、交通安全指導などを行う。特に遅刻に関しては安易な遅刻が多くなっていると考えられるので取り組みを強化したい。 ・自分の健康のみならず他者の健康も守らねばならないという意識を育み、感染症、その他の病気予防対策などの健康安全行動に取り組みさせる。環境美化活動としての清掃指導の充実を行う。	(1) ア ・生徒対象学校教育自己診断「自身の校則、マナー遵守」の肯定的評価 90%以上を維持[89.9%] ・年間遅刻数 2500 件未満 [3261 件] ・病気の予防対策、清掃活動の充実等を促すプリントを相応しいタイミングで 10 回以上配付する。 [11 回]	
		イ 個々の支援体制の充実	イ 「いじめ」事象などに対して個々のケースに迅速に対応できる能動的な支援組織の確立を図り教育相談体制を充実させるとともに、新たに支援委員会を立ち上げ、支援の必要な生徒への具体的な支援の方策について検討を行う。	イ 教職員対象学校教育自己診断「学校の教育相談体制の整備」の肯定的評価 82%以上 [81.0%]	
		(2) 人権問題の理解と自己肯定感の養成	(2)	(2)	

府立堺西高等学校

	ア 人権問題理解による自己尊重教育 イ 特別活動等を通しての自己肯定感の育み	ア 差別等で苦しむ人々がいるという事実についての認識を養いつつ、自分と他者を大切にす る精神を育むために、様々な人権に関する課 題を取りあげたLHRなどを実施する。 イ 他者ととともに課題の達成に至ったよろこびや 有用感、自己肯定感を養うために、本校の大 きな特色である部活動や行事の盛んさ、活発 さをいっそう発展充実させる。 ウ 「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる 推進をめざし、障がい者理解や高齢者理解に つながる取り組みを行い、「認め合い尊重し協 働していく人」を育む。	ア 生徒対象学校教育自己 診断アンケート「命を大 切にする人権関連」の肯 定的評価 80%以上 [79.2%] イ 生徒対象学校教育自己 診断アンケート「学校 行事への積極的参加」 の肯定的評価 80%以上 [80.6%] ウ 授業や生徒会活動等で の社会資源と連携した 取組みを年2回実施す る。	
3 教 職 員 の 働 き 方 改 革 の 推 進 と 学 校 組 織 の 円 滑 な 運 営	(1) 教育活動との バランスに配慮し ながらの校務の合 理化による働き方 の改革 (2) 教職員の学校 運営への参画意識の 醸成	(1) 本校は多様な教育活動をそれぞれ全面的に推進 する全人教育を特色としてきた。そのため一人の 教員が担う業務也多岐にわたっている。そこで、 業務内容を生徒などの実態に即して教育活動に必 要な度合いに分けて、整理したうえで、業務量の 検討を通しての精選と簡素化、組織体制の強化を 進める。また、可能な範囲で情報共有面における 電子化の促進、一斉退庁日の厳格化など、その対 策を産業医と連携しながら進めるとともに、部活 動方針の遵守を図ることで働き方を見直し、労働 時間の適正化を行う。 (2) 将来構想委員会での本校の課題や今後の方向性 についての検討や取組みとともに、教職員の声も 学校運営に反映させながら、校内の様々な組織を 有機的に機能させる。	(1) 長時間にわたる時間外勤 務に関わって、産業医による 面談が必要な教職員の数を 9名以下 [12名] (2) ・教職員対象学校教育自己 診断「学校運営に教職員の 意見が反映されている」の 肯定的評価 50%以上 [47.6%] ・教職員対象学校教育自 己診断「教職員の適性・能 力に応じた校内人事や校 務分掌の分担がなされ、教 職員が意欲的に取り組め る環境にある」の肯定的評 価 40%以上 [35.7%]	
4 保 護 者 ・ 地 域 と 協 力 し た 学 校 づ く り	(1) PTA 活動の充実 と地域との交流 ア PTA 参加や地域 交流の活性化 (2) 広報活動による 本校教育に対する 理解の促進	(1) ・保護者と連携した教育活動の一層の促進を 図るため、実行委員会を中心に、PTA の西高 祭等行事への積極的参加、PTA 主催社会見 学、PTA 広報紙などの活動の充実を推進す る。 ・地域や他校種などとの連携した取組みを積 極的に計画し、イベント等への参加などの要 請についても協力を図ることで、生徒の自己 肯定感の向上を図る。 (2) 機会あるごとに校長ブログの更新、学校 HP の記 事、SNS による最新の教育活動などの情報や生徒 が活躍する学校説明会の開催、アートスタジアム などの行事やイベントに関する特色あるポスター やちらしの配付などを通して、保護者や地域の方 々などに本校の取組みについて知ってもらうと ともに教育活動に理解を深めていただく。	(1) ・保護者対象学校教育自 己診断アンケート「PTA 活動の活発さ」の肯定的 評価 50%以上 [45.9%] ・教職員対象学校教育自 己診断アンケート「学校 の地域等との連携の積 極性」の肯定的評価 50% 以上 [45.2%] (2) ・校長ブログや SNS に よる情報発信 60 回 以上の維持 [79 回] ・学校説明会アンケート での参加者の満足度の 肯定値 90%以上 [90%] ・保護者対象学校教育自 己診断アンケート「教 育情報提供」の肯定的	

			評価 70%以 [69.0%]	
--	--	--	-----------------	--